



2026年2月19日
東日本旅客鉄道株式会社

鉄道業界全体の人手不足に対応する 特定技能人材育成プログラムがいよいよ始動

～業界横断のオープンな教育プラットフォームがスタートしました～

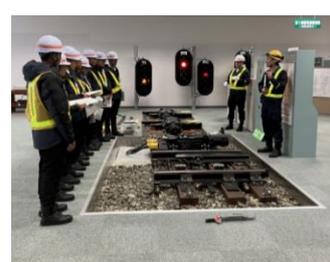
- JR東日本グループでは、鉄道業界全体のサステナブルな事業運営に貢献するため、(一社)海外鉄道技術協力協会(JARTS)と共に、当社以外の鉄道事業者等にも参画を呼び掛け、特定技能人材育成研修の募集を行いました。その結果、全国15の鉄道事業者(当社含む)がとりまとめる形で、鉄道事業者や鉄道工事を担う協力会社等47社から110名を超える受講を申し込みいただきました。
- 各社から予め採用内定を得た研修生は、2026年2月16日からの電気設備整備区分を皮切りに順次来日し、JR東日本総合研修センター(福島県白河市)にて約4週間の研修を受講、2026年3月の特定技能1号評価試験合格を目指します。
- 特定技能人材育成研修をはじめとした未来創造型総合人材育成プログラムの展開にあたり、JR東日本グループ創立40年記念事業の一つとして、JR東日本総合研修センター敷地内に延床面積約10,000㎡の新研修棟を建設する計画を進めています。2026年秋に着工し、2027年度中の使用開始を目指します。

1. 特定技能人材育成研修について

(1) これまでの経緯

JR東日本グループは2025年2月から3月にかけてJR東日本グループ及びその協力会社を対象とした特定技能人材育成研修を試行的に実施し、研修受講者25名中24名が特定技能1号評価試験に合格しました。このうち23名が東日本エリアの鉄道関連企業で就労を開始しています。

これを踏まえ、2026年2月から開講した本研修では、JR東日本以外の鉄道事業者等も広く参画可能な形としました。鉄道事業者や鉄道工事を担う協力会社等47社から申し込みがあり、各社から予め採用内定を得た113名の研修生が約4週間にわたり、JR東日本総合研修センター施設内で研修を受講します。



昨年2月～3月に試行実施した特定技能人材育成研修の様子

(2) 実施概要

① 実施場所

JR 東日本総合研修センター



JR 東日本総合研修センター（本館エントランス）

② 対象区分及び受講予定人数

<車両整備区分> 19名

<軌道整備区分> 49名

<電気設備整備区分> 45名 3区分計 113名

※出身国別人数：インドネシア 66名、ベトナム 42名、フィリピン 3名、モンゴル 2名

※事業者別人数：JR 東日本グループ 41名（うち JR 東日本 4名）、
JR グループ他社 38名、他鉄道事業者各社 34名

③ スケジュール

<車両整備区分>

研修：2026年2月23日（月祝）～3月22日（日） 評価試験：3月23日（月）

<軌道整備区分>

研修：2026年2月27日（金）～3月26日（木） 評価試験：3月27日（金）

<電気設備整備区分>

研修：2026年2月16日（月）～3月15日（日） 評価試験：3月16日（月）

(3) 2026年度以降の展開について

2026年度以降も、本研修を1回あたり100名規模の研修生を受け入れられるオープンな教育プラットフォームとして継続します。鉄道関係各社のニーズに応じて、年2回以上の研修実施も検討します。

アジア各国には、鉄道技術を職業訓練校などで学びながら日本での就労を希望する学生が多数いらっしゃいます。今後、JR 東日本では JARTS と連携して、こうした人材に対し現地での日本語学習の機会を提供し、将来的に特定技能人材として受け入れる取り組みの検討を進めます。また、2027年度に運用開始予定の育成就労制度を活用した人材確保に向け、必要な準備を進めていきます。これらの取り組みについても、他の鉄道事業者等も参画できる形とすることを目指します。

2. JR 東日本総合研修センター新研修棟について

(1) 新研修棟の計画概要

JR 東日本グループ創立 40 年記念事業の一つとして、JR 東日本総合研修センター敷地内に新研修棟を建設する計画を進めています。この建物は、鉄道業界全体や JR 東日本グループ全体に寄与する未来創造型総合人材育成プログラム※の学びの場の象徴として、分野や職種を超えた多様な研修に対応する計画です。



新研修棟全体外観（イメージ）

新研修棟は最新技術と高い環境性能を備え、100 名強の宿泊機能を有する施設として、2026 年秋に着工し、2027 年度中の使用開始を目指しています。

※ 特定技能人材育成に加え、鉄道技術者育成、次世代リーダー育成を検討しています。①及び②は JR 東日本グループ以外の他の鉄道事業者からの受講を可能とします。

①特定技能人材育成：鉄道業界の特定技能人材の安定確保に向けた基礎技術教育

②鉄道技術者育成：主として過去に専門的技術教育を受けていない人材を対象とした、技術分野の初期教育を通じた鉄道技術者の育成

③次世代リーダー育成：JR 東日本グループにおける次代の経営リーダーの育成



大型スクリーンを備えた大階段スペース（イメージ）

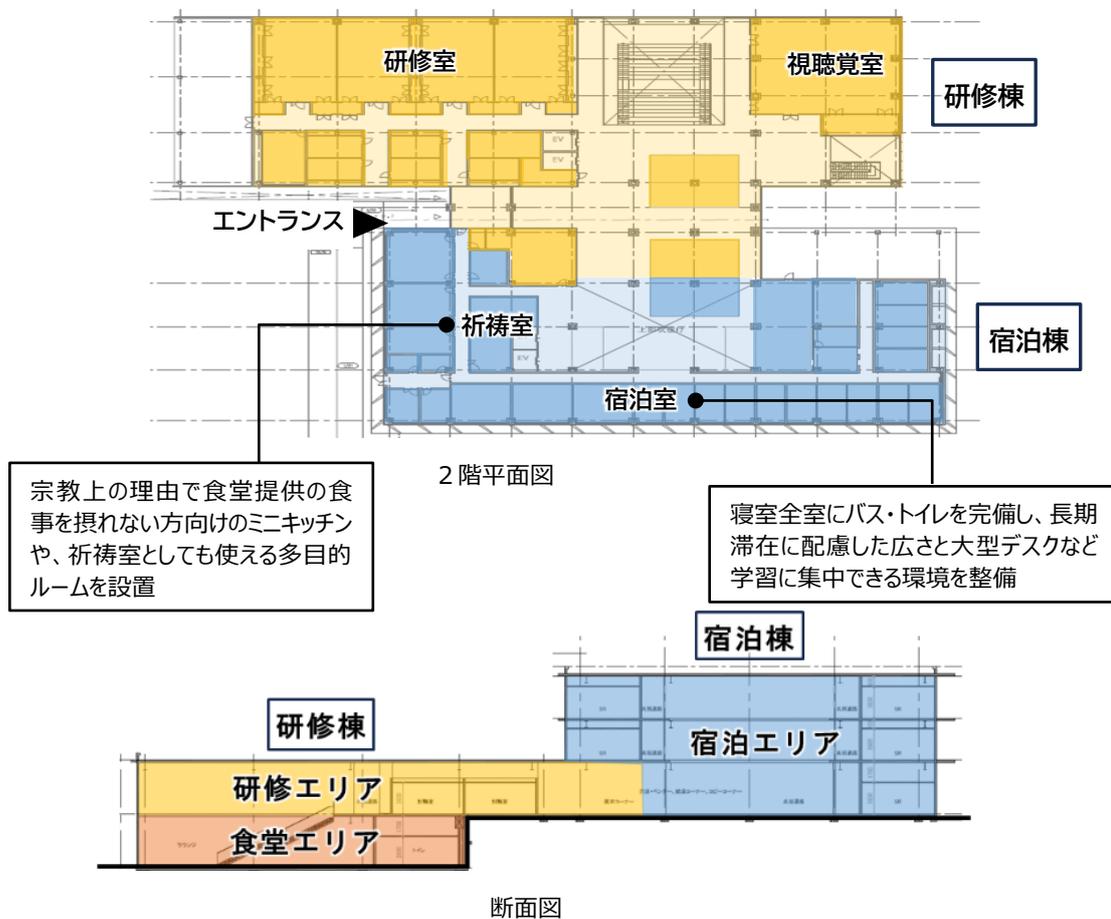


庇・袖壁で熱負荷低減を図った宿泊部分（イメージ）



1 階平面図

大階段前に大型スクリーンを設置し、交流・プレゼンの場として利用



(2) 延床面積

約 10,000 m² (研修棟：約 4,600 m²、宿泊棟：約 5,400 m²)

(3) その他の特長

- ・ 鉄道林等の木材の活用により温かみのある環境とするとともに、「日本らしさ」を感じられるデザインを採用
- ・ 学習環境の充実を図るため、プロジェクターやモニター等の最新教育設備を各教室等に配備
- ・ 環境性能向上のため、建物の熱負荷低減を図るほか、太陽光発電設備の整備検討を進め、ZEB Ready[※]以上の認証取得を目指す

※ ZEB : Net Zero Energy Building の略称 ZEB Ready : 省エネによりエネルギー消費を50%以上削減

3. 特定技能人材育成研修トライアル修了生及び受入企業のコメント

2025年2月から3月にかけて実施した特定技能人材育成研修トライアルを修了し、JR東日本グループ及びその協力会社で就労を開始している特定技能人材の皆様、またその受入企業からいただいたコメントをご紹介します。

<車両整備区分> 東日本旅客鉄道株式会社 アギス ハディ ラハユ さん (出身国：インドネシア)



日本は時間をしっかり守る国なので、列車遅延を発生させないように業務理解を深めて貢献したい。多くの方が利用する山手線に関するメンテナンス業務に従事できる点が、大きなやりがいです。

東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部 東京総合車両センター 近澤 伴也 担当科長

「アギスさんは他会社の技能実習経験があり、生活面の指導がほとんどありません。自身が作業中に怪我をしない取扱いや、一作業一清掃の重要性を学び理解しています。」

<軌道整備区分> 野木軌道株式会社 トミ ハルジュナ プトラ さん (出身国：インドネシア)

日本の鉄道が好きで、人を支える責任ある仕事に携わってみたいかったです。責任者の資格習得を目指して励んでいます。



野木軌道株式会社 代表取締役 野木 容誌 様

「プトラさんは日本語習得・業務習得に対する向上心が非常に高く、日々真面目に取り組んでくれていますので、当初の期待を大きく上回っています。」

<電気設備整備区分> NR 電気システム株式会社 ズオン コン ルオン さん (出身国：ベトナム)



安全に関するルールは、絶対に守らないといけません。自分が間違えると、後輩も間違えることになります。もっと勉強して頑張りたいです。将来は特定技能2号になりたいです。

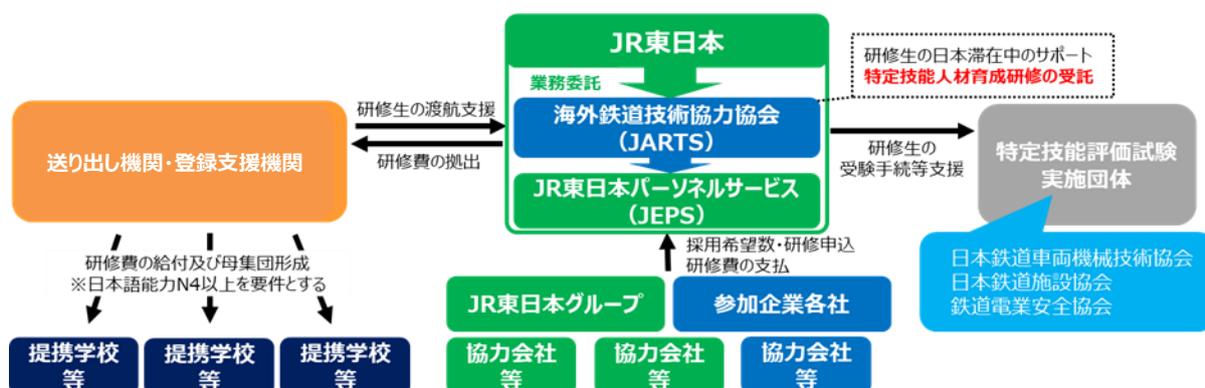
NR 電気システム株式会社 常務取締役 地家 龍一 様

「ルオンさんは日本語の会話能力に優れ、積極的にコミュニケーションを図り、日々の作業を確実に遂行しています。学ぶ意欲も旺盛で、ほぼ日本人中途社員と同等な扱いもできます。鉄道信号の技術・技能を修得し、次期特定技能外国人社員を指導できる存在となることを期待しています。」

【参考】

1. 特定技能人材育成研修の運営体制、就労までの流れ

JR 東日本が実施主体となり、研修全体のコーディネートや研修生の受入れ、研修生の日本滞在中のサポート、研修生の受験手続支援等を担う（一社）海外鉄道技術協力協会（JARTS）、研修講師等を担う（株）JR 東日本パーソネルサービス（JEPS）、研修生の母集団形成を担う送り出し機関や登録支援機関など、様々な機関と連携して研修を運営します。



研修生は研修受講前に、参加企業各社から特定技能 1 号評価試験合格後の雇用契約締結に向けた内定を取得します。そして試験に合格し、内定している会社と雇用契約締結後、在留資格「特定技能」を取得し、車両・軌道・電気設備のメンテナンス業務に従事することになります。



2. 技能実習・特定技能に関連するこれまでのプレス

◆「JR 東日本 Technical Intern Training」を始動します！ ～アジアを中心とした国際鉄道人材の育成について～ [2019年2月5日]

<https://www.jreast.co.jp/press/2018/20190201.pdf>

◆「JR 東日本 Technical Intern Training」実習分野を拡大します！ ～保線分野（鉄道線路のメンテナンス）での技能実習を開始～ [2022年12月12日]

https://www.jreast.co.jp/press/2022/20221212_ho01.pdf

◆外国人技能実習生 タイから鉄道車両整備職種で初の受入れ ～「JR 東日本 Technical Intern Training」の拡大～ [2024年2月6日]

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240206_ho01.pdf

◆JR 東日本の技能実習生にインドネシア、ベトナムから新たな仲間が加わります ～JR 東日本 Technical Intern Training 3カ国に拡大～ [2024年6月27日]

https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240627_ho01.pdf

◆外国人特定技能人材の育成で鉄道をサステナブルに ～鉄道分野で就労する特定技能人材を育成する研修を実施します～ [2025年2月4日]

https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250204_ho01.pdf

◆鉄道分野の特定技能人材育成が本格ステージへ ～オープンな教育プラットフォームとして、特定技能人材育成研修が始動します～ [2025年7月15日]

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20250715_ho02.pdf